

この素晴らしい
日常を守りたい

明日香に生きる

溝淵雅幸 監督作品

この地に生まれ この地で暮らし

やがてこの地の土へと還る

死と生のあいだにあるモノとそれをつなぐモノ

いのちを巡るものがたりを追いかけた400日の記録

後援:  **ホスピス財団** 奈良県 明日香村 特別協賛:  医療法人 **南風舎**  **長谷グループ**  **地域医療振興協会**

協賛: 旭食品株式会社 奈良トヨタ株式会社 西川建設株式会社 認定栄養ケアステーションDRD 合同会社TKT福祉経営研究所 株式会社コーディネーターコンサルタンツ 市立奈良病院 一般社団法人橿原地区医師会 医療法人おかはら会

制作統括: 藤原 福次 語り: みるき 音楽: サビエル大村 撮影: 長谷川 智章 / 落合 温史 録音: 増田 岳彦 / 吉田 一郎 / 藤田 裕二 応援演出: 松山 秀行 制作: 馬場 麻紀 映像技術: 服部 正樹

サウンドミキサー: 吉田 一郎 制作: R's STAFF 製作・配給: 株式会社ディンギーズ 2023年/日本/4KDCP / 116分



人生の義務はただひとつしかない。 それは幸福になることだ。〈ヘルマン・ヘッセ〉

いにしえの時が流れる明日香村。

この村にお医者さんは二人しかいません。

武田以知郎さんはその一人。

在宅医療を大切にしている、診療所の所長さんです。

暮らしを支える介護とは…

願いをかなえる医療とは…

「いのち」に向き合う「医療と介護」が描き出す、

「幸福の本体」のものがたり

ホスピス財団 理事長
淀川キリスト教病院 名誉ホスピス長

柏木 哲夫



美しい自然に恵まれた奈良県明日香村。

そこで生まれ、死んでいく人々と診療所の医師、
看護師との交流を描く。

病院死が当たり前になった現代社会に、

自宅で家族に見守られながら

死を迎えることの幸せを伝える秀作。



日本人の心のふるさと、明日香村には
身も心も癒される空気が流れています。

今回は移り行く明日香村の四季と、明日香に生きる人々の

いのちの物語に寄り添う医療に焦点を当てると共に、

そこから学び育つ若き医師たちの姿を映し出してくれています。

病を治すこと、人を治すこと、そして地域や暮らしを支え、

しかもそれを楽しむこと。

私なりの地域医療のあるべき姿を伝えたいと思っています。

明日香村国民健康保険診療所

医師 武田以知郎

日時：2024年3月2日(土) 14:00～16:00 (13:30開場)

会場：紀南文化会館4階 小ホール(定員：300人)

和歌山県田辺市新屋敷町1番地 (TEL:0739-25-3033)

入場無料

主催：田辺圏在宅医療・介護連携支援センター 和歌山県田辺市新屋敷町1番地の8 田辺市医師会館2階
TEL:0739-34-3316 FAX:0739-34-3326 E-mail:tanaberenkeishien@m.speedia.jp URL:https://www.tanabe-kenniki-ikr.jp
この事業は令和5年度田辺圏在宅医療・介護連携推進事業として実施するものです。